

平成30年度第6回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成31年2月25日（月）14:00～16:00
- 2 場 所 さぬき市役所 附属棟 多目的室
- 3 出席者 【委員】尾崎委員 柿木委員 金子委員 亀井委員 小山委員 多田委員
南田委員 村上委員 山中委員
【事務局】向井総務部長 酒井室長 三宅主査
株式会社ぎょうせい四国支社 藤本参事 山内主任研究員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第 1 開会
2 あいさつ
3 議事
(1) 「第2次さぬき市男女共同参画プラン」見直しについて
(2) 平成30年度事業報告について
(3) 平成31年度事業予定について
(4) その他
4 閉会
- 6 配布資料 資料1 第2次さぬき市男女共同参画プラン（改訂版）一案一
資料2 平成30年度事業報告
資料3 平成31年度事業予定
別紙 「男女共同参画につながる啓発アイディア」提案書

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞ (14:00)
事務局	本日は、御多忙の中、御出席いただきありがとうございます。 ただ今から平成30年度第6回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。 はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会村上会長からあいさつを申し上げます。
会長	<会長あいさつ>
事務局	ありがとうございました。 つづいて、会議の公開についてです。 本会議は、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、「原則公開」となっています。 本日は、協議会の傍聴要領に従い13時30分から受付しています。いまのところ傍聴の希望はありませんが、傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。

事務局	<p>それでは、議事に入ります。 さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、進行は村上会長にお願いします。</p>
会長	<p>よろしく申し上げます。 はじめに、本日の会議についてですが、終了予定時間を 16 時としたいと思いますので、ご協力よろしく申し上げます。 なお、本日は、第 2 次さぬき市男女共同参画プランの策定支援を担当する、株式会社ぎょうせいの藤本さんと山内さんが同席しています。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議事（1）「さぬき市男女共同参画プラン見直しについて」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><資料 1 に基づき説明> ■前回会議からの修正報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料のとおり 11 項目について修正を加えた。 ・このうち、「数値目標」については、委員意見を整理した上で 2 つの数値目標（案）にまとめた。 <p>①「数値目標（案 1）：第 2 次プランの数値目標の考え方を引継ぐ」 委員から指摘された「現在のプランを策定した当時の数値目標の設定根拠」と「さぬき市の現状に沿った数値目標」を明らかにしたうえで、次に掲げる視点に沿って数値目標を見直したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 目標値を「実施回数」に一本化した (2) 修正後の目標値を「現状値以上」に上方修正した <p>ただし、「児童虐待防止啓発」「ファミリー・サポート・センター」については、現実に即した目標値への修正に留めている。また、委員から「地域見守り隊の登録数」についても数値の妥当性について確認を求める意見があったが、担当部署から「地域の事業所を含む見守り活動を開始したことから、目標値は変更せず引き続き努力したい」との回答が得られたことから、目標値の変更等は行っていない。</p> <p>②「数値目標（案 2）：第 2 次プランの数値目標を「成果指標」の考え方に見直す」 前回会議で委員から寄せられた「講演会の実施回数〔活動指標〕ではなく、市民意識の変化〔成果指標〕が大切ではないか」との意見を踏まえ、成果指標の考え方に沿って数値目標を再構成したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の自治体における計画策定においては、取組の過程ではなく成果で評価する「成果指標」の考え方が一般的になっていることから、数値目標（案 2）を採用してはどうかと考えている。
会長	<p>委員から意見を伺う前に、事務局からの説明について 1 点確認を求めます。 数値目標（案 2）を採用した場合、例えば（案 1）で記載していた「地域見守り隊の登録数 55 隊以上」といった数値目標が削除されるという認識で合っていますか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり。ただし、削除される予定の数値目標は、全て新たなプランに明記した「具体的取組」に含まれ、毎年度の進捗状況調査で継続して確認することが可能であることから、プランの推進自体には影響しないと考えている。</p>

会長	<p>(案2)は端的な表現となっており、市民意識を高めるために努力しようというメッセージが伝わってくるように感じます。</p> <p>ところで、「さぬき市防災会議の女性委員の割合」についても前回の会議で委員から意見があったと記憶していますが、この点についても説明をお願いしますか。</p>
事務局	<p>前回会議で委員から指摘されたとおり、この数値自体が、さぬき市の防災意識を代弁するものであると断言することはできない。しかし、地域における防災意識が高まり、女性が積極的に防災活動へ参画するようになった結果として、地域防災の実働部隊として女性委員が選抜されるケースが増えることも想定される。こうした考えが、この会議の女性委員の割合を数値目標に選択している理由だと理解している。なお、新たな目標値として女性委員の割合を「20%以上」としているが、これは今後の5年間で女性委員を1名以上増やすことを意図している。</p>
会長	<p>わかりました。それでは、委員から意見ををお願いします。</p>
委員	<p>「職場において『男女平等』と感ずる市民の割合」の目標値について、(案1)が40%以上となっているが、(案2)は35%以上となっている。記載誤りと思われるので、修正をお願いします。</p>
事務局	<p>修正する。</p>
委員	<p>(案1)は、前回会議での意見が反映され、理解できる形にまとまったと感ずる。一方、数値目標を絞り込んだ(案2)は、成果指標の抜粋となるため、個別の活動に対する評価があいまいになる恐れがある。</p> <p>無理に数値目標を絞り込まず、現状を踏まえた(案1)でもよいのではないかと。</p>
事務局	<p>委員が指摘するとおり、(案2)はゼロベースから積み上げて作成された数値目標ではなく、あくまで(案1)から「市民意識の変化」に着目して絞り込んだものである。先ほど事務局は、数値目標として(案2)を採用してはどうかと意見したが、やはり網羅的な活動成果についても評価すべきとの意見であれば、(案1)の採用を妨げるものではない。</p>
会長	<p>事務局が作成した2つの数値目標に込められた意図は十分理解できましたが、委員の中には、(案1)から(案2)への絞り込みに関する是非について、意見がある方もいるのではないのでしょうか。</p> <p>これは私見ですが、(案1)を基本としつつ、重点的に取り組む項目を明記してみてもどうでしょうか。例えば、基本目標1であれば「社会において『男女平等』と感ずる市民の割合」、基本目標2であれば「職場において『男女平等』と感ずる市民の割合」、基本目標3であれば、「高齢者等が安心して暮らせる支援において『満足できる』『やや満足できる』と感ずる市民の割合」もしくは「DV被害を『どこ(だれ)に相談してよいかわからない』とする市民の割合」といった具合です。</p> <p>そのほか、活動指標と成果指標を分けて掲載することも検討できますが、この場合は表記が少し煩雑になるかもしれませんね。</p>
事務局	<p>数値目標の中に、重点項目を表記することは可能である。</p>

会長	他に委員から意見がなければ、(案1)を基本に数値目標を整理することで決定してよろしいでしょうか。
委員	<委員了承>
会長	ありがとうございます。事務局は(案1)を基本として取りまとめをお願いします。
事務局	委員からの意見を踏まえ、重点項目を盛り込むなど数値目標を再整理する。 なお、「本編」に合わせて作成する「概要版」については、掲載紙面が限られることから、数値目標の一部を抜粋するといった加工を施す場合があることを予め承いたいただきたい。
委員	<委員了承>
会長	その他、委員から意見はありますか。
委員	「男女共同参画」と一口に言っても、施策の切り口が多岐にわたるため、施策効果の測定が非常に難しいと感じた。講演会の実施を例にすると、講演会の参加者数は男女共同参画意識の高まりを示す指標になるだろうし、講演会に参加した後の意識の変化も大切な指標の一つと言えるだろう。 今回、成果指標の議論があったが、数値目標(案1)の考え方や設定方法は正しいが、将来的には見直すべき時期が来るのは間違いない。そのため、事務局には今後の施策展開や計画見直しの根拠資料となるよう、継続的なデータ収集を希望する。
事務局	来年度から見直し後の施策が展開されるが、毎年度の進捗状況確認を実施するほか、数値目標の妥当性を判断できるよう継続的なデータ収集に取り組む。
委員	重点項目を明らかにする意見に賛成する。 (案1)であれば、「社会全体において『男女平等』と感じる市民の割合」、「社会全体において『男女平等』と感じる割合」、「附属機関等の女性委員の割合」、「高齢者等が安心して暮らせる支援において『満足できる』『やや満足できる』と感じる市民の割合」などが候補になるだろう。
事務局	委員の意見を参考に、基本目標ごとに柱となる重点項目を選定したい。
委員	28頁と48頁で数値目標の項目の順序が異なっているが、意図がある順序なのか。
事務局	28頁は現行プランの施策体系に、48頁は見直し後の施策体系に従っている。 委員が指摘した点については、事務局でも同様の疑義が生じたため検討を行ったが、委員からの求めがあれば、修正することも可能である。
会長	中間目標値とは、現行プラン策定当時の考えに沿って得られたものであり、その順序を変更することには抵抗を覚えます。一方、見直し後の数値目標と整合できていない点に不自然さを覚える方もいるでしょう。 この点について、他の委員から意見を求めます。

委員	中間目標値を、無理やり現在の考え方に合わせるかたちに修正すれば、現行プランとの整合性に疑問が生じる恐れもある。2つは別物だと、割り切って考えてよいのではないか。
事務局	事務局では、今後の施策体系を重視して整理したいと考えている。
会長	それでは、28頁と48頁は修正なしとします。 なお、表記方法やレイアウトなどについては、事務局で適宜修正をお願いします。
	以上で、第2次さぬき市男女共同参画プラン（改訂版）に関する議論を終了します。 なお、本日の議論を踏まえた計画書の修正や校正作業、概要版の作成などについては、事務局に一任したいと思います。よろしいでしょうか。
委員	<委員了承>
会長	ありがとうございます。事務局では、引き続き作業をお願いします。
	続いて、議事（2）「平成30年度事業報告について」、議事（3）「平成31年度事業予定について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料2、資料3に基づき説明>
会長	ここで説明を区切ります。ここまでの説明について、質問や意見などがありますか。
委員	<質疑なし>
会長	それでは、説明を続けてください。
事務局	<別紙資料に基づき説明>
会長	それでは、出席委員一人ひとりから自らの提案について説明をお願いします。
委員	<別紙資料に基づき説明>
会長	委員からの説明が終わりました。 ここで確認したいのですが、このアイデア提案で出された意見は、今後どのような活用を検討しているのでしょうか。事務局の方針を教えてください。
事務局	今回のアイデア提案は、プラン策定の過程で委員から出された意見を集約し、委員間で共有することを第一に考えたものである。また、今後の方針として「意識啓発が重要である」との意見が多かったことから、意識啓発につながる具体的取組について意見を求めた。
会長	委員の提案に対して、事務局からの意見はありますか。

事務局	<p>①啓発活動は、様々な団体が連携することで効果が増すとの意見や、草の根レベルの地域イベントに行政が外向いて協働することが大切であるとの意見があった。基本に立ち返った取組の重要性を説く意見として大切にしたい。</p> <p>②スーパーマーケットのレジなど、待ち時間が生まれる場に啓発ポスターを設置すれば効果的との意見があった。買い物客層にあわせた啓発方法として参考にしたい。</p> <p>③事業所を対象にした啓発活動では、まずは「男女共同参画とは何か」という基礎を正しく認識・理解してもらう必要があるとの意見があった。組織を対象にした啓発における参考として役立つ意見だと感じた。</p> <p>④現在実施している市民企画事業について、実施団体自体の知識向上につながる取組や事業実施後のフォローアップを求める意見があった。より有意義なソフト事業とするための改善提案として受け止めたい。</p> <p>⑤視覚だけでなく、聴覚を活用した広報への提案があったが、これは行政からのお知らせが文字情報に依存していることへの警鐘だと理解している。一方的な押し付けの広報ではなく、本当に情報へ届けたい人への広報となるよう、配慮や工夫を重ねる必要性を実感している。</p> <p>⑥生涯にわたる健康に関する取組として、子宮頸がん予防啓発への意見があったが、香川県の子宮頸がん検診受診率は全国平均を下回っており、県全体の懸案事項でもある。例えば、先進的な自治体では、検診案内チラシに検診で早期発見できた住民の意見や感想を掲載することで、検診受診者の当事者意識を高める取組事例などもある。市民の共感が得られるような啓発活動を目指す必要があると感じている。</p> <p>⑦委員からの提案には、男女共同参画だけでなく、他部署でも活用できるアイデアが多く含まれている。プランに盛り込んだ組織横断的な連携を推進するためにも、取組の充実を目指したい。</p>
会長	委員から意見はありますか。
委員	<p>国では「女性管理職を増やそう」と目標を掲げているが、単純に女性管理職の人数を増やすだけでは、女性活躍社会にも、男女共同参画社会にもつながらないことは明白だ。なぜ女性管理職を増やす必要があるのか、どのような環境整備に取り組みば女性管理職が増えるのか、などの社会的な議論が欠かせない。地域で同様の議論を進めているのが「地域防災における女性参画」の問題だろう。</p> <p>「男女共同参画」は取扱うべき分野が広すぎて、抽象的な議論に陥ってしまいがちだ。それが男女共同参画意識の広がり进行を妨げる原因の一つとも考えられる。</p> <p>①市民に「男女共同参画が目指す姿」を正しく認知してもらうこと</p> <p>②分野別の個別具体的な課題の解決を目指すこと</p> <p>この2つを整理して失敗を恐れずに挑戦することが必要だと感じる。</p>
会長	<p>会議の終了時間となりましたので、本日の議論は終了したいと思います。</p> <p>この議論は非常に重要ですので、来年度の会議でも引き続き議論したいと思います。</p> <p>事務局には、委員から出されたアイデア提案書を簡単にまとめた会議資料の作成を求め、次回の会議までに委員へ送付するよう求めます。</p>
会長	最後に、議事（4）「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><事務局説明></p> <p>■次回会議予定：5月27日（月）14時～ さぬき市役所 附属棟 多目的室</p>

総務部長	<総務部長あいさつ>
会長	<p>1年間にわたって熱心に議論いただき、ありがとうございました。 平成30年度第6回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。 お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">< 閉 会 > (16:00)</p>